

「第68回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和4年12月14日（水）14時～15時25分
- 出席人数：会場11人（欠席9人） 傍聴：4人

1 南西部地域の特性に即した新たな交通手段の研究

（1）前回の振り返りと確認

公共交通課より説明

＜運行乗降場所の候補地の検討（グループワーク）＞

- ・人が集まる場所として、公共施設、公園、スーパーマーケット、コンビニ、病院、クリニック、駅やバス停などの乗継ぎの場所に、大きいシールを貼った。
- ・利用しそうな方が住んでいるエリアとして、交通が不便なエリア、高齢者が多く住んでいるエリア、人が集まるエリアに、小さいシールを貼った。
- ・乗降場所の安全性や妥当性を考慮しながら、乗降場所の候補地253カ所にシールを貼った。チェックポイントは、安全に乗降や待機できる場所か、交差点や横断歩道の前後から5m以内は不可、駐車場や車庫から3m以内は不可、安全に車両とすれ違いできるか、行き止まりの道路は不可、乗降場所の前後にカーブは不可、乗降場所付近の住民の理解が必要、民間バス路線やタクシーと競合しないかなど。

→253カ所にシールが貼られたが、公共交通課で安全性や妥当性を考慮して精査した結果、191カ所に整理し、候補地一覧を作成した。

＜デマンド交通運行事業者（トーション交通）への視察の報告＞

確認内容

- ・予約は電話で受け付けており、利用者は登録番号、氏名、利用時間、乗車地、目的地、乗車人数を伝え、オペレーターは車両の空き状況を確認し予約を入れる。
- ・1日3台の車両で運行し、予約は10～12件程。
- ・運行開始当初は乗合での利用が少なかったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き、利用者数が伸びてきたことから、同じ時間帯で乗車場所と目的地が近い場合は、できる限り乗合で運行するように受け付けている。

※詳細は、第67回報告を参照

（2）今回の検討内容

他市で実績のある方式をミックスした案をベースに引き続き検討し、新たな案として運行パターンを考えていく。

協議

①運行曜日について

（座長）2つのエリアを1台で運行することを前提で考えているので、前回、運行曜日については、曜日で分けて設定することで検討することとなった。実証実験運行の乗車実績や

人口、面積の広さから、鷹の台駅西側地域を3日とし、上水本町地域を2日として検討してはどうか。

- ・通院で使いたい人が多いと思われる。例えば木曜日は休診が多いので、どのように曜日を分けていくのか。

→（公共交通課）木曜日は小さな病院は休診が多い傾向にあるが、コミュニティバスやコミュニティタクシーの乗車実績において木曜日が他と比べ、特に少ない傾向はない。今年9月～11月に実施した「小平市地域公共交通に関するアンケート調査」や「小平市地域公共交通に関するヒアリング調査」では、目的としては買物が1番多い。月曜日と金曜日は乗車人数が多いが、他の曜日に大きな差はない。

実証実験期間については、これまでの実績では6～8カ月だったが、新しい運行システムを定着させることが重要なので、期間は長く設定した方が良く考えている。

- ・曜日を分けるなど複雑にしないで、分かりやすくして、伝えることが重要と考える。まず成功例を作って、見直し期間を設定して進めていってはどうか。利用したい人が行きたい目的地を探る必要があるのでは、会員制にしてはどうか。また、周知が難しいので、ある程度の期間が必要と考える。

- ・実証実験運行の期間、運行曜日は固定するのか。

（座長）月ごとに運行する曜日を変えると、高齢者は覚えるのが難しい。実施期間は長めに設定するのが良いのでは。

- ・シンプルにして、複雑にならないようにした方がいい。

- ・月～水曜日と、木・金曜日で分けたらどうか。

- ・実施期間を8カ月確保できるのであれば、半分に分けてそれぞれ月～金曜日の毎日運行し、上水本町エリアで4カ月間、鷹の台駅西側エリアも4カ月間運行して、利用状況のデータが平等に取れるようにした方が良いのでは。

（座長）前回の実証実験運行の時は、どれくらいの期間で定着していったか

（小平交通）前半の利用は多かったが、行きたい所に行けないので、利用は徐々に減っていった。

- ・実証実験運行後を考えてみると、2台、3台と運行車両が増える訳ではないので、1台で両方のエリアを運行することを想定して、実施する必要があるのでは。

- ・採算を考慮しながら、次は絶対成功させることを考えなくてはいけない。

- ・コミュニティタクシーでできなかったことを、デマンドでどうできるか、便利で乗りたいと思ってもらう必要がある。

（座長）まずは運行させてみる。分かりやすく伝えて、利用してもらうことが大事ではないか。南西部地域は2つのエリアがあるが、1台での運行になると、曜日で分けて運行するのが公平だと思われる。

- ・実証実験運行には東京都の補助金が使えるので、まずは運行させてみるのが大事ではないか。

（座長）運行曜日は、3日と2日に分けるということでもいいか。

→（公共交通課）コミュニティタクシーでは月曜日と金曜日の利用が多いので、その曜日は分けた方が良いと思われるが、上水本町エリアが2日になるのであれば、曜日について

は上水本町エリアの意向を聞いてはどうか。

- ・上水本町地域を2日にすると不公平になるのであれば、午前と午後で分けるのはどうか。(小平交通) 10時台と3時台の利用が多い傾向にある。午前と午後で分けてしまうと、通院で利用するのが難しくなる。行きは利用できるが、帰りは利用できなくなってしまうという問題が出てしまう。

(座長) 上水本町地域に月曜日か金曜日を選んでもらい、残りの1日も上水本町地域に選んでもらう方法で良いか。

- ・最近の事例では、デマンド交通の「チョイソコかわさき」は、運行曜日が月・水・金・土・日曜日の週5日で、運賃は300円となっている。他の地域のチョイソコでもいい成果が出ているので、参考にしてみてもどうか。

(座長) 運行曜日については、公共交通課と調整して提案していく。

②利用対象者について

公共交通課より、「南西部地域の人口、妊婦の推計人数、東久留米市の利用登録状況について(参考資料)」に基づき説明

小川町1丁目、津田町、学園西町を除く南西部地域の人口は、約39,000人で、利用登録対象者に対する申請割合を東久留米市の事例に当てはめ13.5%とすると、小平市の場合、約5,300人の申請者数が見込まれる。

- ・母数を大きくしないと、利用が少なくなるのではないか。
→(公共交通課) 実証実験運行期間が長ければ、初めは利用対象者を0～3歳児と65歳以上に絞るが、利用が少なければ、年齢制限を外していく方法も考えられる。

(座長) 利用対象者は未就学児と65歳以上にしてはどうか。

- ・対象者を絞ると、公平ではなくなってしまう。誰もが利用できるようにするべきではないか。
- ・説明の切り口として、交通弱者への足の確保という福祉目的の視点があることで、理解が得られるのではないか。
- ・付き添い人への対応はどうするのか。

(座長) 乗務員は介助できないので、一人で利用できない場合は、付き添い人が同乗することになる。対象者を絞らないと、高齢者が利用したくても、利用できなくなることが生じるのでは。

- ・東久留米市のデマンド型交通の目的は。
→(公共交通課) 目的は、高齢者や自転車が乗れない人、小さい子どもがいて長時間歩くことが難しい移動困難者への支援である。三鷹市のデマンド型交通では、対象者を絞っていない。
- ・当初の検討では、利用対象者に制限をかけない前提ではなかったのか。三鷹市に対象者に制限をかけない事情を聞いてみてはどうか。制限をかけるメリットは何か。
→(公共交通課) メリットは、本当に利用したい人が利用できるようになることである。一方、予約が多いと断ることになってしまう。公共交通はどなたでも対象となるが、順位を考えると交通弱者が優先となる。三鷹市には、対象を絞らない理由を確認する。

- ・年齢制限を設けてしまうと、福祉サービスになってしまうのでは。誰でも利用できるのが公共交通ではないのか。
- (座長) デマンド型交通は、公共交通を補完するものとする。地域住民の全員を対象にすると、対応できなくなってしまうのではないかと。
- ・まずは対象者を高齢者に絞って事前登録してもらおうが、登録者が少ない場合は、制限を外して増やすことを考えてはどうか。
 - ・事前登録の項目は、名前、年齢、不便さの事情(ランク)としてはどうか。
 - (公共交通課) 不便さのランク付けは困難である。
- (座長) 利用対象者については、公共交通課に案を示してもらおう。

③運賃について

- (座長) 運賃はこれまでの検討から300円統一とし、利用対象者を限定しなかった場合は、子ども運賃の設定が生じる。
- (公共交通課) 子どもは大人の半額を想定している。
- ・大人1人と子ども1人が利用した場合の運賃は。
 - (公共交通課) 大人が300円、子どもが150円で、合計450円になる。

2 その他

(1) 市からの情報提供

- ・にじバス協議会・コミュニティタクシーを考える会・コミュニティ交通をみんなで考える会合同意見交換会を、12月7日、8日に開催し、21人の参加があった。コミュニティ交通をみんなで考える会からは、5人に参加していただいた。

(2) 参加団体からの情報提供

特になし

《今後の予定》

第69回 令和5年1月11日(水) 14時から開催 ※場所 小川公民館 講座室

次回は、

- ・運行パターン④をベースに、乗降場所の候補地などについて、検討する。
- ・地図に落とし込んだ乗降場所と候補地一覧を元に、乗降場所として妥当か検証する。